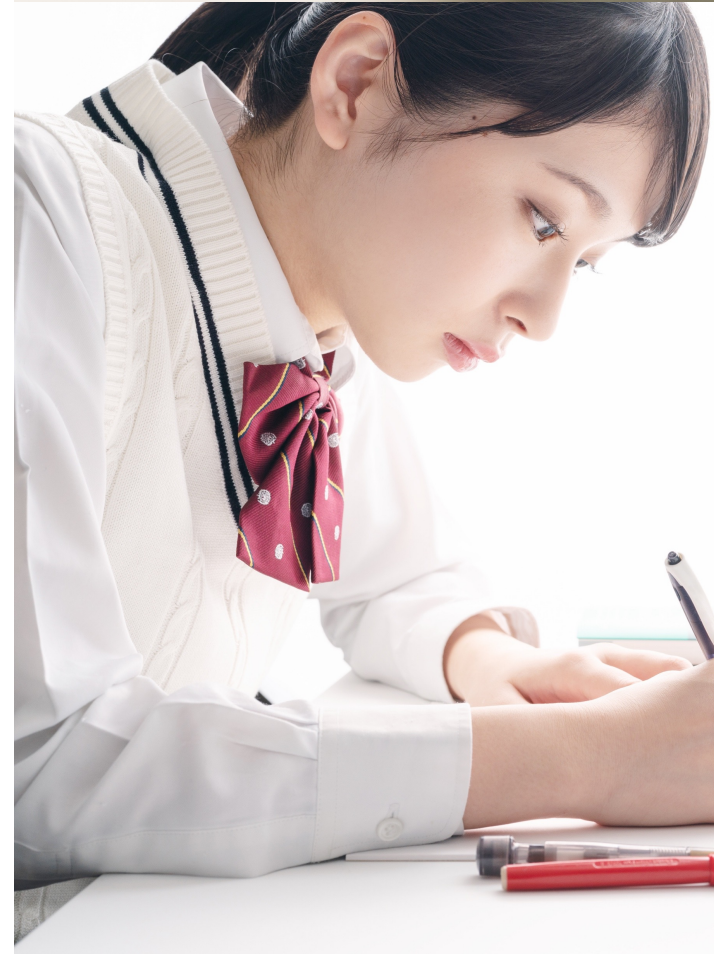




どんな  
仕事かな？



きみを求めている  
障害福祉のしごと



 厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

 厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare



- 02 障害福祉の仕事とは
- 03 障害福祉の仕事 5つの魅力
- 05 働く人の声
  - 訪問系サービス
  - 就労系サービス（就労移行支援）
- 07 よくある質問（Q&A）
- 08 障害福祉の仕事をしてみたい！と思ったら

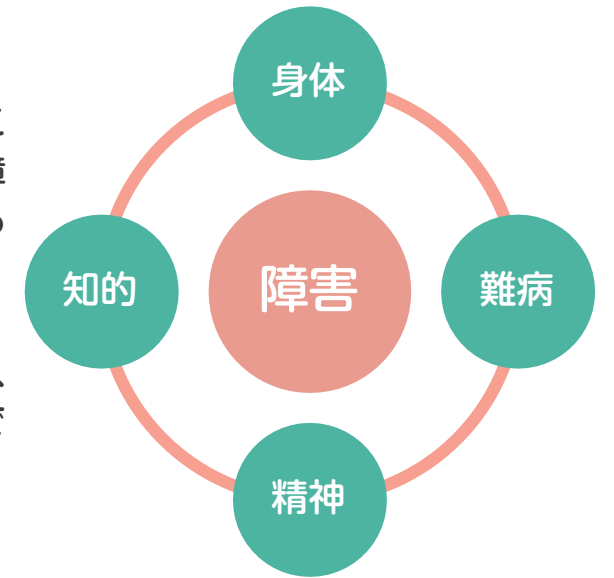


## 障害福祉の仕事とは？

幅広い方法で障害者を支援しています。

障害福祉とは、障害のある方が自らの望む生活を営むことができるように支援することを言います。それぞれの障害の中で、個別の状態や症状がありますので、求めている支援も多岐に渡ります。

例えば、障害のある方の状態やニーズに適したサービスにつなぐための相談や、買い物や外出の支援、入所施設での介護、共同住居での生活支援などさまざまです。



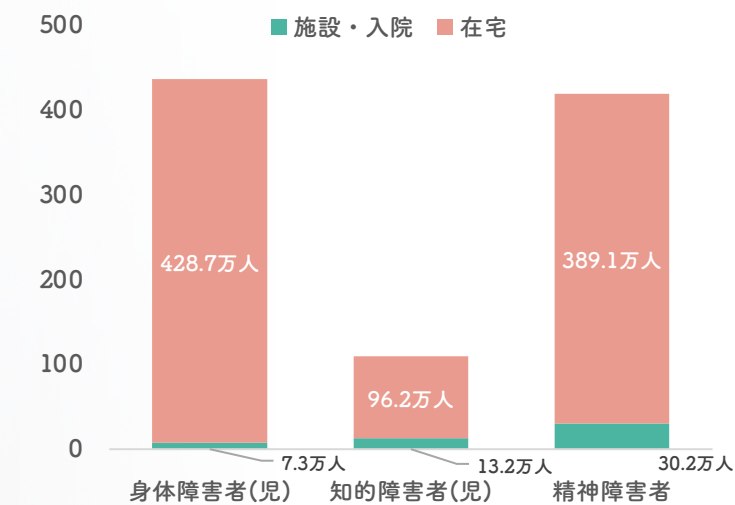
障害福祉の仕事とは、そのような支援に携わることで、さまざまな個性や想いに触れられる魅力ある仕事です。

「障害」と言っても種類は様々

## 全国の現状は？

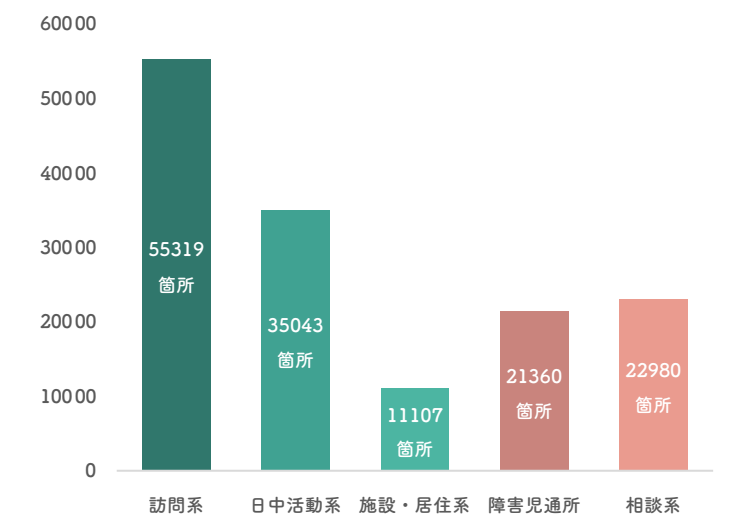
全国には多くの障害者があり、その方々を支える多くの障害福祉サービスがあります。

障害者の数



出典：生活のしづらさなどに関する調査  
(全国在宅障害児・者等実態調査)

事業所の種類別に見た事業所数



出典：平成30年社会福祉施設等調査



# 障害福祉の仕事5つの魅力

## 1 「ありがとう」 が生まれる

障害福祉の仕事をする中で、利用者やその家族から感謝されることがあります。自らの仕事に対して生まれる「ありがとう」の喜びは、この仕事ならではの醍醐味です。



## 2 自分の成長が 感じられる

障害福祉の仕事を通して、専門的な知識や技術を身につけることができます。利用者への支援を通して、自身の視野を広げられるだけでなく、サービス管理責任者や相談支援専門員など、具体的なキャリア形成が可能で、自分の成長を感じやすい仕事です。

## 3 命の尊さが 学べる



さまざまな困難や逆境を抱える人が力強く生きる姿に、命の大切さを改めて学ぶことができます。



## 4 社会貢献、 地域貢献が できる

困っている人に寄り添う活動は、社会への貢献度が高く、社会福祉としても重要な役割を担います。

また、障害があるなしに関わらず、地域で共生していくことが求められているため、自らのアイデア次第では、積極的な地域貢献ができます。



## 5 安定した 将来性が ある仕事

障害福祉サービスは法律に位置付けられたサービスです。それは社会的に必要なだと認められている仕事ということです。

また、国を挙げての積極的な待遇改善も図られているため、長く安定して働くことができます。





# 01

有限会社  
パーソナル  
アシスタント町田

**中野 恵時様**  
介護福祉士・事務員

訪問系サービス



# 02

社会福祉法人  
電機神奈川福祉センター  
ウイング・ビート

**須田 紗織様**  
生活支援員

就労系サービス  
(就労移行支援)



## 自己実現の大切さとチャレンジ精神

### 利用者の自己実現を支援する

学生時代の4年間、介護のアルバイトをしていました。そのとき利用者様の自己実現、理想の暮らしを支援する仕事にやりがいを感じ、卒業後もこの仕事を続けようと思いました。訪問による介護は利用者様の自宅でケアをするのでコミュニケーションや雰囲気作りを大切にしています。



### 単身アメリカに行かれた方も！

利用者の中には、単身アメリカに行かれた方もいました。SNSなどで現地ボランティアの協力を得て無事に帰国されました。そのチャレンジ精神には驚きました。障がいがあっても自分が望むことをする、そうした姿を間近に見ると自分自身のモチベーションも上がりますね。



### もっと身近に感じてほしい

目標は、介護福祉の仕事をもっと身近に感じてもらうことです。友人に介護職だと言うと「すごいね、大変だね」という言葉が必ず返ってきます。でも特別な仕事ではありません。イメージで介護を避ける人も多いですが、もっと気軽にできる仕事なんだと知って頂きたいですね。

## 成長のカギはコミュニケーション

### 大学時代の資格を活かす

私は転職組です。前職は小売業に従事していました。小売業は体力勝負でもあったので、いつまで働けるのか不安がありました。大学時代に障害者スポーツ指導者の資格を取得していたので、スキルや知識を活かせる仕事はないかと探しているときに、今の職場と出会いました。



### コミュニケーションの大切さ

現在、発達障がいのある方の就労支援を行っています。仕事で大切にしているのは、利用者さんとのコミュニケーションです。伝え方ひとつで利用者の受け取り方も違います。コミュニケーションに苦手意識を感じている人も多く、伝え方を間違えて落ち込むこともありますね。



### 時間とともに成長できる仕事

仕事をはじめて3年になりますが、時間とともに伝える力も成長してきたのかなと思います。利用者さんが自信をつけて就職された時は嬉しいですし、やりがいも感じます。いまは精神保健福祉士の資格に挑戦しています。もっとスキルアップして長くこの仕事を続けたいです。



# よくある質問 (Q&A)

## Q1 女性が働き続けられる職場ですか？

### A 女性が活躍する職場です。

職員3人のうち2人以上が女性だと言われています。また、障害福祉には乳幼児から高齢者向けのサービスがあり、活躍のフィールドが広い職場です。

## Q2 勤務時間は平均でどのくらいですか？夜勤はありますか？

### A 多様な働き方ができます。

1週間の労働日数は5日が最も多く、1週間の労働時間31～40時間が最も多くなっていますが、次いで10時間以下も多いため、多様な働き方が認められている職場と言えます。施設やグループホームなどでは夜勤があります。1か月に1～5日程度の夜勤を行うことが多いです。

## Q3 精神的負担・身体的負担は大きいですか？

### A ときには負担を感じることもあります。

支援の結果がうまくいかなかったり、仕事を任せ過ぎで、負担や不安を感じることもあります。

しかし、仲間からの助言や利用者とのコミュニケーションの中から次に活かせるヒントが見つかることもあり、うまくいったときの感謝の笑顔に癒やされることも多いです。

## Q4 未経験でも働けますか？

### A 未経験者や他の分野からの転職者も多くいます。

未経験者でも働ける職種があり、実際に多くの未経験者や転職者が働いています。サービスによっては他産業のスキルが活かせることもあります。

## Q5 研修制度や手当は充実していますか？

### A 国を挙げて充実が図られています。

障害福祉計画の策定に係る指針において、専門性を高めるための研修の実施などが盛り込まれています。

ガイドヘルパーなどの専門的な研修や実務経験を積んだ上での相談支援専門員やサービス管理責任者などを目指す研修などが幅広く用意されています。

また、処遇改善加算など国を挙げて積極的な待遇改善が図られています。

## Q6 将来性がありますか？長く働けますか？

### A 社会的に必要とされている仕事です。

近年、障害福祉分野で働く方はエッセンシャルワーカーとも呼ばれ、障害者やその家族が日常生活を行う上で、必要不可欠な存在となっています。

また、近年、経験・技能を有する人材への重点的な待遇改善が図れております。

# 障害福祉の仕事をしてみたい！と思ったら

## 福祉人材センター

福祉人材センターでは、福祉・介護の求人を探ることができます。各都道府県に設置されている都道府県福祉人材センターへご相談ください。

福祉人材センター： <https://www.fukushi-work.jp/>

## 新卒応援ハローワーク

新卒応援ハローワークは、学生や卒業後未就職の方を支援する専門のハローワークです。新卒応援ハローワークでは、お仕事探しに関する相談や、各種セミナーなどを行っております。



新卒応援ハローワークにおける主な支援の流れ

- 初来所 ↓ 活動スタート
  - 求職者登録、個別相談
    - ★初回は、基本的に無料です。
    - ★2回目以降は、専任のナビゲーターによる担当者制で支援が始まります。
    - ★1対1の相談を希望する場合には、就職希望地のナビゲーターが、地元企業の情報などを提供いたします。
  - 自己分析、各種セミナーの受講
    - ★たとえば、就職活動の進め方講座、ビジネスマナー講座、面接基本対策講座、グループディスカッション、就活の身だしなみ講座、職業適性検査、職業興味検査 など、多様なメニューを用意しております。
  - 企業説明会を通じた業界研究
  - 情報収集、求人検索
    - ★ナビゲーターとともにあなたにあった求人を探しましょう。
    - ★大卒求人情報、イベント情報は、ハローワークセンターネットサービス (<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>)でも閲覧できます。
- 企業への応募
  - 企業へのアプローチ
  - 応募書類や面接の準備、支援
    - ★これまでの学生生活を振り返りながら、魅力的な履歴書やエントリーシートを作成をサポートします。
    - ★面接練習を受けることもできます。
  - 面接会場や会合面接会の開催
    - ★年間を通じて多数開催しています。企業の担当者と直接お話しすることもできます。
- 採用
  - 就職後の相談、定着支援
    - ★就職後も、職場環境や人間関係、昇進などの悩みについて相談を受け付けています。引き続き、お気軽にご相談ください。

利用者の声

- 担当のナビゲーターにじっくりと相談することで、就職までの道のりが見え、精神的負担が軽減されました。
- 今まで分からなかった自分の強みを発見することができ、面接でもアピールできました。

詳しくは、お近くの労働局、ハローワークにお問い合わせください。

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク LL02040/開者01

あしたを拓く人を創る 厚生労働省 人材開発統括官